

# 『もっと暮らしやすいまち』ってどんなまち？

市内在住の20代から40代の女性の皆さんにインタビューを行いました。

## 進学・就職、働き方のもっと

- ・やりたいことが県内にない。やりたいことが県外にあった(30代・会社員)
- ・進学先は、都会で暮らしてみたい、一人暮らしをしてみたくて県外を選んだ(30代・会社員)
- ・進学先が少ない(20代・学生)
- ・就職活動する際に帰省するための交通費や時間が負担となり、大学のある地域で探してみよう(20代・学生)
- ・就職先は、都会のほうが選択肢が多そうだから、都会で探す(20代・学生)
- ・若いうちから経験を積みたいので情報や人が集まる都会を選ぶ(20代・学生)
- ・就職先は、社員の人の良さや仕事とプライベートの両立のしやすさが大切！(20代・学生)
- ・人の役に立つ仕事がしたい(20代・学生)
- ・結婚、出産しても働き続けたいと思う(20代・学生)

## 暮らしのもっと

- ・若者が集まれる場所、遊ぶ場所があるといい(複数)
- ・公共交通がもっと便利に。特に駅から大学周辺のアクセス(20代・学生)
- ・公衆トイレがきれいだと観光客のイメージがよくなると思う(40代・会社員)
- ・便利な暮らしよりも安心感が重要(30代・会社員)

## 子育てのもっと

- ・女性にとって魅力的なまちは、治安が良い、買い物が便利、夜でもまちが明るい(複数)
- ・女性にとって魅力的なまちは、楽しく子育てができて、楽しく仕事ができる場所だ(複数)
- ・山陽や関西からのアクセスが良くなると県外に出た人も帰ってくるのでは(20代・学生)
- ・新幹線があるといい(複数)
- ・県外の大学に行った人に、松江に実は中小企業はこんなにもいっぱいあるよとか、IT系も伸びているから島根でもできる、働く場所はちゃんとあるよと伝えることが必要では(20代・学生)
- ・「女性はこうでなければならぬ」という考えが生きづらさになる。一定の年齢になると周囲から結婚を迫られる(30代・会社員)
- ・子ども医療費など支援は充実していてありがたい(30代・会社員)
- ・2年前に松江に戻ってきたが、保育園に預けられずに困った(30代・会社員)
- ・土曜保育が預けにくい(20代・会社員)
- ・子どもの集団検診の実施日は、休日を含めて柔軟に対応してもらえると助かる(20代・会社員)
- ・子育ての悩みなど気軽に話ができる場があるといい(30代・会社員)
- ・子育ての支援が欲しいときにちゃんと届く仕組みがあるといい(40代・会社員)
- ・雨天時でも子どもが遊べる場所、屋内施設があるといい(複数)

あなたが考える「もっと暮らしやすいまち」を実現するためのアイデアを書いてみよう！

- ・遊べる図書館、騒いでもOKな図書館(30代・会社員)
- ・男性、特に上司の理解がとっても重要(30代・会社員)
- ・男性に育休をとってほしい！(30代・会社員)

# 若者・女性がもっと暮らしやすいまちをめざして

松江市まち・ひと・しごと創生《人口ビジョン》《第2次総合戦略》

松江市の総人口は減少が続いています。なかでも、少子化や若者の都市部への流出が続いたため、**20〜39歳の人口は、ここ10年間で約1万人減少**しています(左表参照)。

第2次総合戦略では、こうした若者の人口減少を和らげるため**若者・女性ももっと暮らしやすいまちをめざし**、若者などの声をまちづくりに生かす仕組みづくりや魅力ある雇用の創出、出産・子育て支援の充実、個性や多様性を尊重される地域社会づくりなどに取り組みます。



|       | 総人口      | うち20〜39歳 |
|-------|----------|----------|
| 2009年 | 208,882人 | 49,349人  |
| 2019年 | 203,565人 | 38,850人  |
| 増減    | ▲5,317人  | ▲10,499人 |

出典：島根県人口移動調査

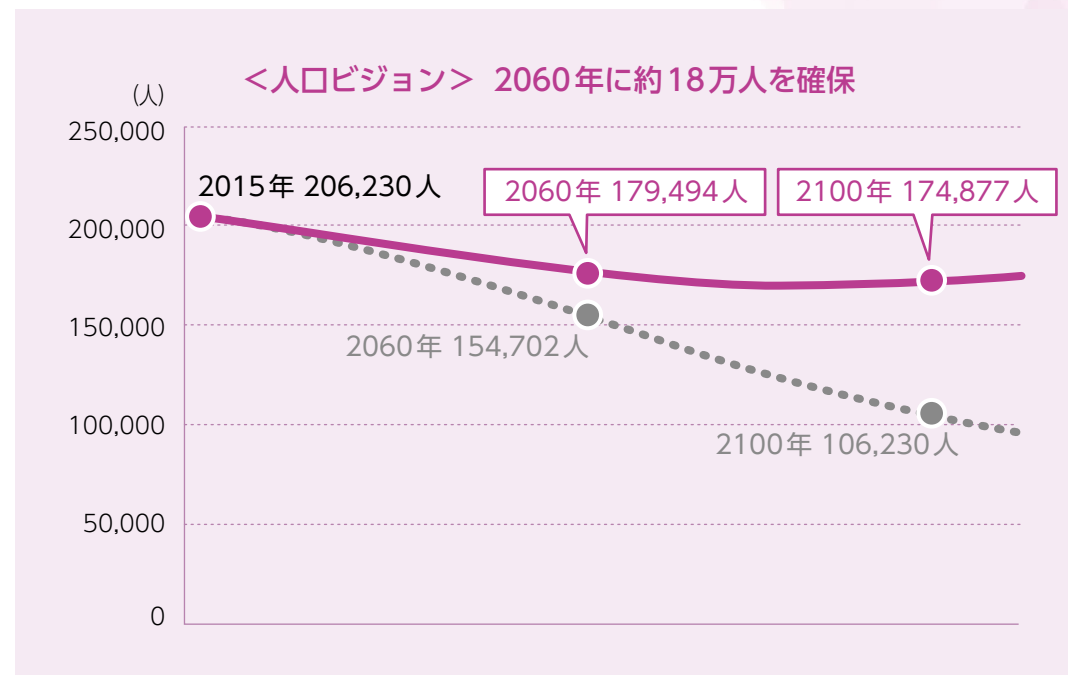




人口ビジョン 持続可能で均衡な年齢構成へ

本市の人口がこのまま減少を続けると、2060年には15万5千人まで減少します。

人口の減少を和らげ、将来にわたって人口が安定的に推移する持続可能で均衡な年齢構成に向け、**2060年に約18万人の確保をめざした「人口ビジョン」**を定めました。



第2次総合戦略の具体的な取り組み

2060年に約18万人を確保するため、「**2つの挑戦**」を掲げ、その取り組みの柱となる「**5つの基本目標**」と「13の重点プロジェクト」に取り組んでいきます。

**挑戦1** 出生数約2000人／年をめざす※  
**挑戦2** 平均270人／年の社会増をめざす

※子どもを産みたいと思う人の希望がかなうような環境を整え、その結果としてめざすものです。

基本目標 1

若い世代の希望を生み出す個性豊かで地域の特色を生かした産業と雇用を創出する

若者にとって魅力ある雇用場をつくるために、地域資源を最大限活用して「もうかる産業」（しごと）を創出します。

- ① さらりと光る元気な企業群づくりプロジェクト
- ② 農林水産業の成長産業化プロジェクト
- ③ 観光産業のバージョンアップ・インバウンド強化プロジェクト
- ④ 文化の多様な価値の創造と好循環プロジェクト

基本目標 2

松江の魅力に磨きを掛け、新しい人の流れをつくる

新しい人の流れをつくるため、松江の個性・住みやすさに磨きを掛け「人や企業に選んでもらえるまち」をつくりまします。

- ① 拠点化推進プロジェクト
- ② 人材還流・松江暮らし推進プロジェクト
- ③ 関係人口の創出・拡大プロジェクト
- ④ 未来を担う次世代「人財」育成プロジェクト

基本目標 3

一人ひとりが個性と多様性を尊重され、誰もが活躍できる地域社会をつくる

一人ひとりが個性と多様性を尊重され、家庭で、地域で、職場でそれぞれの希望がかない、能力を発揮でき、生きがいを感じながら暮らすことができる環境を創出します。

- ① 結婚支援の充実と子育て環境日本一実現プロジェクト
- ② 女性の活躍促進、誰もが活躍できる地域社会の実現プロジェクト

基本目標 4

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

「健康都市まつえ」の実現、豊かな自然、多様な文化財や歴史的まち並みを生かした都市デザインの形成、安全に安心して生活できる環境をつくりまします。

- ① 健康都市まつえ・スポーツによるまちづくりプロジェクト
- ② 松江の魅力を高める環境・都市デザイン推進プロジェクト
- ③ 国土強靱化、安心安全なまちづくりプロジェクト

基本目標 5

中海・宍道湖・大山圏域の連携強化により、日本海側の拠点をつくる

2060年に中海・宍道湖・大山圏域の人口60万人の維持をめざし、県境を越えた広域連携による、住みたくなる圏域づくりに取り組まします。

松江市まち・ひと・しごと創生《人口ビジョン》《第2次総合戦略》の詳細は、市ホームページをご覧ください。

松江市総合戦略

検索

